

## 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業「関係人口創出マッチング会議」次第

～ 新しい仲間を どう作る ? ～

### 1 開会挨拶 (13:00～ )

北海道地域協議会事務局長 大澤 英二

### 2 事業等の説明 (13:10～ )

#### (1) 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業について

北海道地域協議会 阿部 <sup>としるま</sup> 敏章

#### (2) 関係人口創出・維持タイプについて

水産林務部森林環境局 森林活用課 主査 山崎 <sup>ちえ</sup> 千恵

### 3 事例発表

#### (1) アウルの森 (愛別町) 代表 橋本 <sup>むねのり</sup> 宗則 (13:30～13:55)

・地域外関係者 天理教災害救援ひのきしん隊

#### (2) 標津の森を守る会 (標津町) 副会長 <sup>いなみ</sup> 井南 進 (13:55～14:20)

・地域外関係者 相模女子大学 栄養教育学研究室 学生

### 4 マッチングに向けた意見交換会 (14:20～14:50)

「新しい仲間をどう作るのか」の具体的手法について

- ・意見交換
- ・質疑応答

### 5 総評 (14:50～15:00)

北海道地域協議会 会長 庄子 <sup>やすし</sup> 康

(北海道大学 森林政策学研究室 教授)

### 6 閉会

※ 各項目の所要時間は、目安になります。

#### 【その他】

この事業の名称が長いため、会議では省略してお話させていただきます。

- ① 森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業 → 「多面的交付金事業」
- ② 北海道森林・山村多面的機能発揮対策協議会 → 「北海道地域協議会」

# 森林・山村多面的機能発揮対策交付金とは

地域住民や森林所有者等が協力して行う里山林の保全管理や森林資源を利活用するための活動に対する支援

## 現場のニーズ

荒れている里山林の手入れや景観維持・保全活動を行いたい



薪やシイタケ原木など森林資源を活用して、山村を活性化したい



森林整備のための歩道を作りたい  
整備した森林をみんなで活用したい



## メインメニュー

### 活動メニュー

- 【地域環境保全タイプ】
- 里山林景観を維持するための活動
  - 風倒木や枯損木の除去活動等

- 【森林資源利用タイプ】
- 集落周辺の広葉樹等の伐採、搬出活動等

## サイドメニュー

- 路網の補修・機能強化
- 資機材の整備
- 関係人口の創出、維持活動  
(上記メインメニューと組み合わせて実施)

# 支援メニューと国の交付額 (金額は1年あたり)

## 活動推進費 (3年間の活動計画を具体化する取組に対する支援)

現地の林況調査、活動計画の実施のための話し合い、研修等  
(3年計画の実行初年度のみ対象: 上限112,500円)

## メインメニュー

### 地域環境保全タイプ

里山林保全活動  
**最大**120,000円/ha

侵入防止・林整  
備  
道では対象外  
283,000円/ha

### 森林資源利用タイプ

薪等として利用するための  
伐採・搬出等の活動  
**最大**120,000円/ha

## サイドメニュー

### 路網補修等

路網の補修・機能強化  
等 (800円/m)

### 資機材の整備

整備する資機材  
(1/2又は1/3)

### 関係人口創出等活動

10名以上の地域外関係者  
が参加する活動  
(50,000円/年1回)

# 地域環境保全タイプ (助成単価最大120,000円/ha 285,000円/ha)

## ○里山林保全活動 (助成単価:120,000円/ha)

見回りのみではダメ

里山林景観を維持するための活動

雑草木の刈払・集積・処理、落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、地拵え、植栽、播種、施肥、不要萌芽の除去、緩衝帯・防火帯作設のための樹木の伐採・搬出、風倒木・古損木の除去・集積・処理、土留め・鳥獣害防止柵等の設置、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング、損害保険等



## ○侵入竹除去、竹は整備活動 (助成単価:295,000円/ha)

北海道は、竹林がないので対象外

高密度に侵入したモリ、雑草木の伐採・搬出、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング、損害保険等



## 森林資源利用タイプ (助成単価最大120,000円/ha)

雑草木の刈払・集積・処理、落ち葉掻き、歩道・作業道の作設・改修、木質バイオマス・炭焼き・しいたけ原木・伝統工芸品原料のための未利用資源の伐採・搬出・加工、特用林産の植付・播種・施肥・採集、これらの活動に必要な森林調査・見回り、機械の取扱講習、安全講習、施業技術に関する講習、活動結果のモニタリング、損害保険等



見回りのみではダメ

### 路網の補修・機能強化

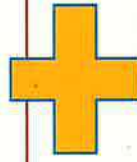
歩道や作業道等の作設・改修、鳥獣害防止柵の設置・補修、及びこれらの実施前後に必要なとなる森林調査・見回りに  
(助成単価：800円/m)  
※見回りのみは不可

### 活動の実施に必要な 機材及び資材の整備

各活動を実施するために必要な機材及び資材の購入・設置に対して、必要額の2分の1又は3分の1以内を支援

### 関係人口の創出・維持等の活動

活動に際し、地域住民に加え、10名以上の地域外関係者の参加を創出するため、受入準備、受入に伴う掛かり増し経費のソフト経費に対するの支援  
(助成単価：50,000円/年1回)



※3年間の計画の中でメインメニューと  
組合せて実施

# 関係人口（マッチング）に係る取組

- ・都道府県、市町村、地域協議会が連携して関係人口創出・維持に係る取組支援を検討
- ・具体的には、①活動組織と関係人口の両者を対象としたマッチングイベントの開催や②イベント時以外に関係人口に係る情報を関係者間で共有、などを想定

## 活動のイメージ

### 関係人口に係る情報収集等

- ・ 関係人口とは、森林整備保全、環境問題、地域活性化、SDGs等に関心がある、移住した定住人口でもなく、観光に来た交流人口でもない、地域内外の人々と多様に関わる者
- ・ これら関係人口の情報を活動組織や市町村等から収集し、連携した取組等を希望する活動組織等へ情報提供

### マッチングイベントの開催

- ・ マッチングイベントとは、活動組織と関係人口を結びつけるためのイベント
- ・ 既実施団体の優良事例を発表してもらい、参加者で事例を共有
- ・ 活動組織と関係人口双方のPR
- ・ その後、取組に向けた打合せ等を実施

## 森林・山村多面的機能発揮対策交付金制度

### 関係人口創出・維持タイプについて

#### 森林・山村多面的機能発揮対策

- ◆地域住民、森林所有者等が協力して実施する里山林の保全、森林資源の利活用などの取り組みを支援。

#### 支援対象



- ◆メインメニュー  
地域環境保全タイプ・森林資源利用タイプ
- ◆サイドメニュー・・・メインメニューとの組み合わせで実施できます。  
森林機能強化タイプ・資機材、施設の整備・**関係人口創出・維持タイプ**

#### 活動内容

- ◆地域外関係者との活動内容の調整
- ◆地域外関係者受入のための環境整備
- ◆これらの活動に必要な森林調査・見回りなど

#### 地域外関係者（関係人口）とは・・・

その地域に移住している定住人口ではなく、観光に来た交流人口でもないが、その地域と深い関わりのある人。  
関係人口には、その地域にルーツのある人や、過去に住んだことのある人、頻繁に行き来している人などが含まれます。



地域住民と関係人口が協力して森林の保全管理や森林資源の活用を行うことは、山村地域のコミュニティを維持・活性化し、新たなアイデアや視点により多面的な機能を発揮する森林づくりにつながります。

#### 採択要件

- ◆地域外関係者の参加を得て活動することが、地域環境保全タイプまたは森林資源利用タイプの活動を効果的に実施するために必要。
- ◆活動を実施する対象森林の所在する昭和25年2月1日における市町村の区域以外に居住する者。
- ◆地域外関係者の参加人数が10名以上。
- ◆活動は年1回以上。
- ◆交付金の採択申請時に、地域外関係者との現地確認や活動内容の調整が完了し、相手方名なども決まっていること。

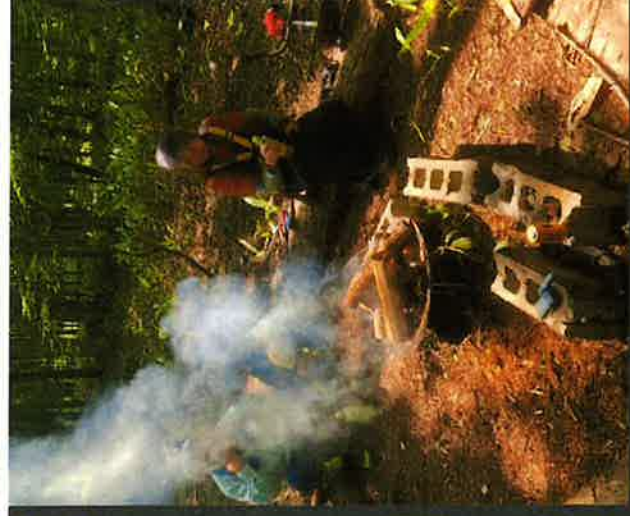
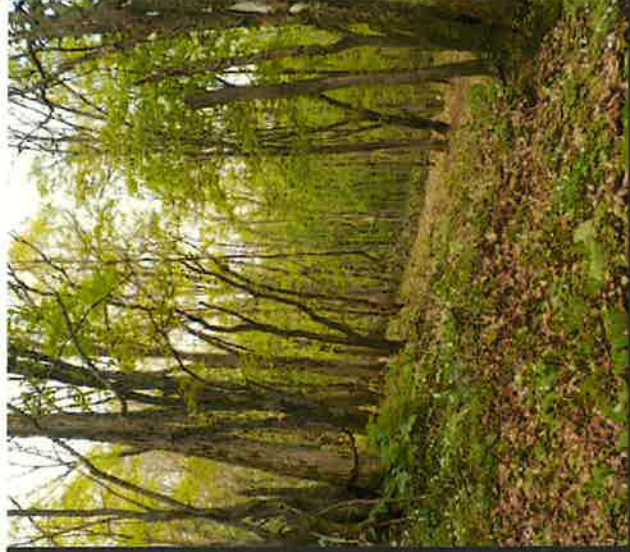


災害救援隊と木こりのマッチング

関係人口創出

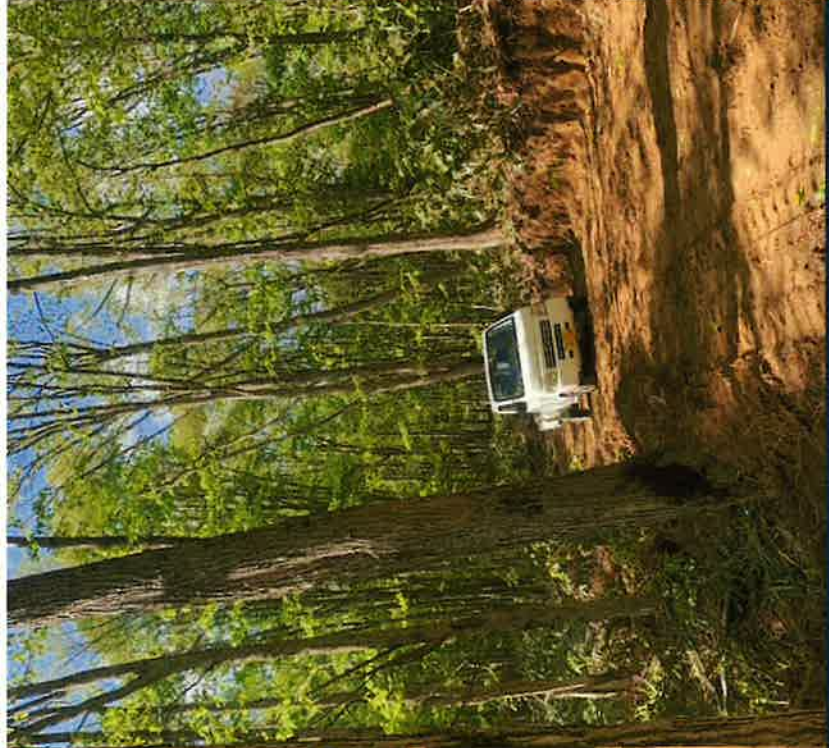
アウルの森(愛別町)





## アウルの森

- 愛別町29林班55小班、74小班、83小班的2.6ha
- 50年以上放置されていた平らな広葉樹二次林
- 土地の所有者と地域住民で、2021年度より多面的機能発揮対策交付金を活用して森林整備と森づくりを学びながら活動をしている。



活動内容：  
自伐型林業の森づくりを参考に他団体に  
学び道づくり、笹刈、枯損木の除去、択  
伐を行う



参加者

• フォーロード

天理教災害救援ひのきしん隊  
旭川支部、上川支部、富良野支部  
上川郡愛別町29林班55小班、74小班83小班  
(2.6ha)



# 令和5年度災救援隊訓練

旭川支部、上川支部、富良野支部合同



## 活動の意義

- ・ 訓練を通じて技術の向上と隊員の安全意識の向上

- ・ 訓練を通じて各隊員の分担、指示を構築し有事の際即効性のある活動につなげる

- ・ 訓練を通じて必要な道具の選定や管理を覚える



# 災害隊と自伐型林業 をマッチングするこ とで得られる効果

- ・ 自伐型林業で使う技術は小回りの効く小規模林業であり、有事の際災害隊の活動に活かすことができる。
- ・ 林業経験者や、森づくりに長けている方を講師として呼び各隊員の技術の向上に貢献できる。
- ・ 道具の選定、管理を覚え有事の際即効性のある物を各支部分担任で用意できる。
- ・ 各地域の山林を経験できる研修現場を用意できる。



# 林業に必要な な道具



## 基本的な自伐型林業で使う機械

1, チェンソー



2, 刈払い機



3, トラック (軽トラ〜2トン車)



4, バックホー (4トンクラス)



5, 林内作業車



6, ウインチ



7, その他

- ・粉砕機
- ・グラップル
- ・トラクター
- ・高性能林業機械

8, 燃料

- ・ガソリン・混合油・軽油・チェーンオイル・ヤスリ等の工具

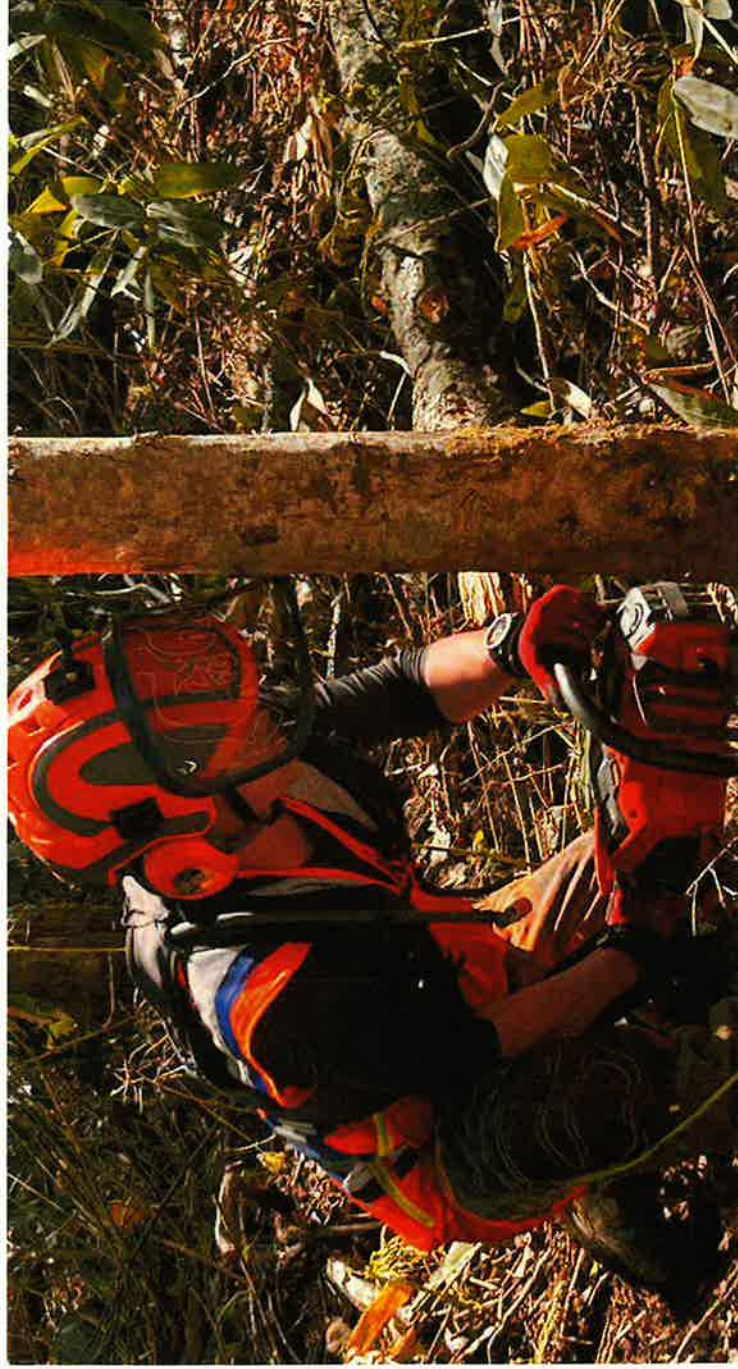


## 安全装備と服装

- ヘルメット：林内では必ずかぶります。フェイスガードとイヤーマフ（防音耳当て）付き。欧州ではあごヒモ禁止ですが、日本では逆にあごヒモ必須です。
- 防護ズボン・チャップス：綿状の強い繊維が挟み込まれ、チェーンソーの刃が当たると絡みついて回転を止めます。負傷の6割が脚部なので、義務付けとなりました。
- 靴：滑って転ばないことが第一。つま先や甲に保護板が入った防護型も。
- 手袋：軍手はトゲなどを防げないので、革手袋やゴム製にします。アクセル調整に指が動きやすいものを。落とすと作業できないので、予備を持ちます。
- 上着：動きやすく目立つ服装を。ポケットはふた付き。シャツの裾やタオル、スマホのアクセサリなどがチェーンソーに絡むと大事故を招きます。
- その他装備：腰ベルト、ショックレスハンマー、大小のクサビ、手のこ、スリングやロープ、フェリングレバー
- 医薬品など：一般的な傷薬、消毒液、絆創膏、止血帯など。虫や蜂刺されの時に使う吸毒器（エクストラクタ）蜂刺されによるアナフィラキシーショックを緩和するエピペン、熊との遭遇時に有効な熊スプレーなど。



• 事前打ち合わせ・準備



- 講師：里山部 清水省吾氏
- テキストは「もりねっと  
「森づくりとチェーンソー」を使用







午後から伐採木の搬出チェンソーのメンテナンス及び目立ての仕方を学び感想などの振り返りをして閉会する。

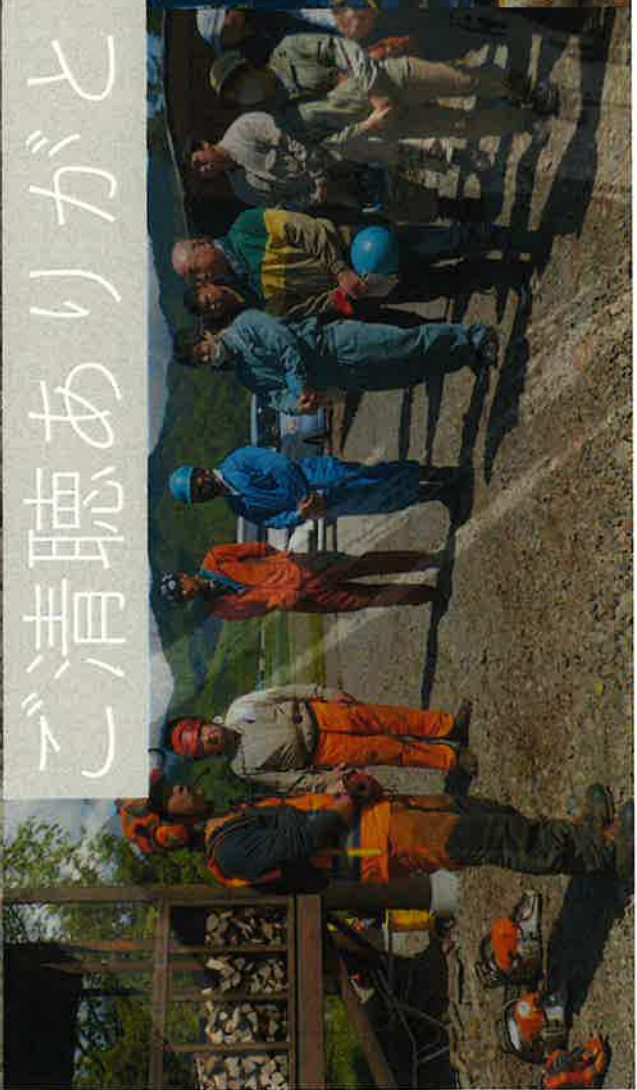
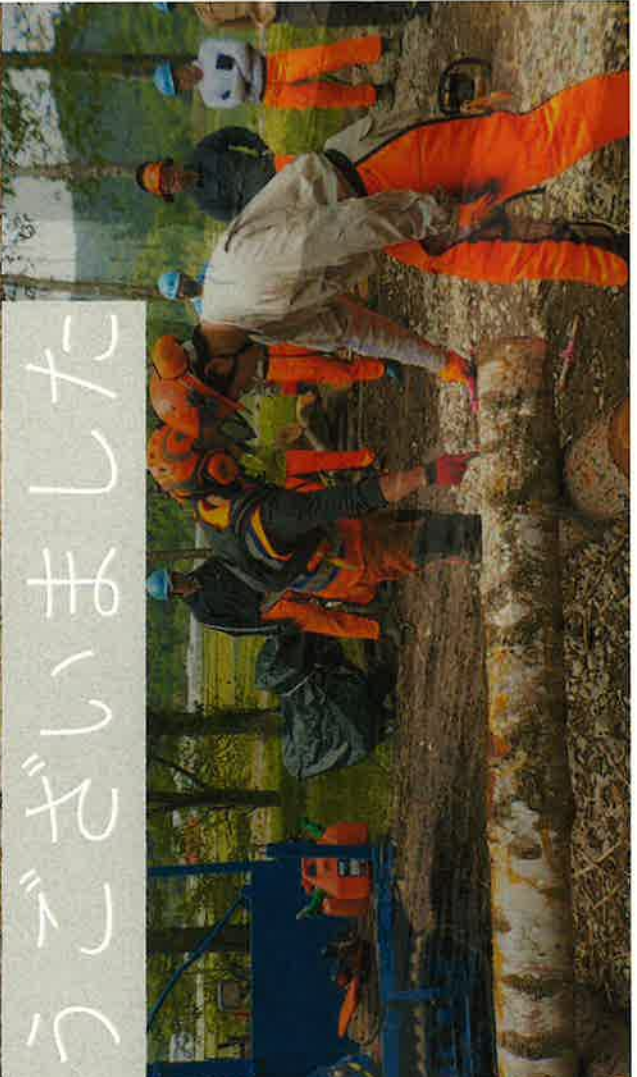
## まとめ

### ◎良かった点

- ・チェンソーの取り扱い、木の切り方、メンテナンスなど基本を見直すことができました。
- ・このメニューのおかげで活動の幅が広がった
- ・お互いの交流をできてつながりができました。

### ◎反省点や疑問点

- ・今回は基本的なことで、参加者全員が同じ玉切りやメンテナンスの講習を受けていたが、作業になるともっと入念な段取り必要で、安全を守る為の場所の選定や準備が必要。
- ・対象参加者の地域の区切りが分かりにくかった
- ・最初10人以上の参加者はハードルが高いように思った。



ご清聴ありがとうございました

令和5年度

森林・山村多面的機能発揮対策交付金

関係人口創出・維持タイプ

標津の森を守る会





# 関係人口創出・維持タイプの取り組み

## 内容

- 1.活動組織の概要
- 2.ホー川自然史跡公園
- 3.活動内容
- 4.過年度の関係人口との交流状況
- 5.令和5年度 関係人口創出・維持タイプ実施状況
- 6.課題・問題点など

2023年12月13日  
オンライン開催

標津の森を守る会

会長：田村憲夫

事務局：井南 進

事務所所在地：標津郡標津町

# 標津の森を守る会活動位置



## 実施場所

標津郡標津町字伊茶仁

57番地1

60林班08-09小班

所有者：標津町

管理者：標津町教育委員会

担当：ポ一川自然史跡公園

## ● 1. 活動組織の概要

- ・「標津の森を守る会」は、森林・山村多面的機能発揮対策交付金の申請をするため、平成27年1月に設立。
- ・会の目的： 標津の森を守る会の構成員による森林・山村の多面的機能発揮のための活動を通じ地域の活性化を図ることを目的とする。
- ・取組内容・背景： 標津町が管理するポー川自然史跡公園内の420haの森林は、未整備のため、風倒木、枯損木、笹、雑草等が蔓延し荒廃してきました。このため標津町の住民(当初19名)が標津の森を守る会を設立し、公園内の森を整備し、自然体験学習、森の生物学習、自然観察会を開催することにより、標津町と都市との交流人口の拡大、及び地域の活性化を図る必要があった。また2020年に日本遺産として登録された世界最大級の竖穴住居郡の周辺を整備し、公園内の環境を整えることにより1万年の歴史文化の教育や体験を行うことができ、地域住民の絆を深める活動の場所として、地域全体の活性化を図ることが出来る。

ポー川史跡自然公園  
面積 640ha

要整備区域  
アカエゾマツ樹林帯  
面積 約150 ha

その他区域  
倒木・枯損木処理と植樹  
(ミズナラ・シラカバの苗木)  
予定面積 約 150 ha

森林・山村多面的機能発揮対策交付金  
実施場所 面積5.5ha  
60林班08・09小班  
平成29年より実施

森林・山村多面的機能発揮対策交付金  
実施場所 面積 4.8ha  
60林班01・14小班  
平成27年より実施

国指定  
天然記念物標津海岸  
面積 212 ha

カリカリウス

標津町歴史民俗資料館



### 3. 活動内容

- ・ 平成27年より、活動推進費・地域環境保全タイプ  
61林班23・24小班、人工林の間伐・下枝払
- ・ 平成30年より、活動推進費・地域環境保全タイプ・森林機能強化タイプ  
60林班08・09小班草刈
- ・ 令和3年より、森林資源利用タイプ・関係人口創出・維持タイプ・森林機能強化タイプ  
長野県生坂村中学校受け入れ
- ・ 令和5年度、森林資源利用タイプ・関係人口創出・維持タイプ  
相模女子大学・長野県生坂村中学校・大阪南大学

# 活動内容

## 地域環境保全タイプ

ササ・雑草刈取作業 同一箇所で作業前後の比較

作業前

作業後



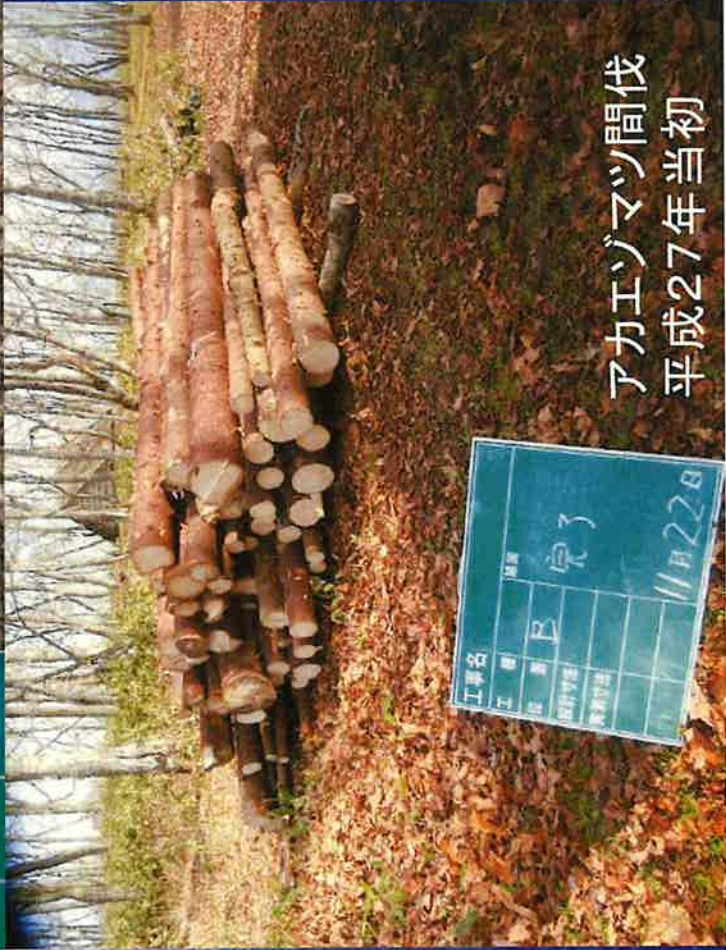
# 活動内容

森林資源利用タイプ 5.5ha  
森林機能強化タイプ 200m



工種	(4)	下枝払い
実施日	9月18日	
立木	60-14	

## アカエゾマツ下枝払



工事名	下枝払い
工種	B
実施日	完了
実施場所	11月22日

アカエゾマツ間伐  
平成27年当初



## 風倒木処理

工事名	風倒木処理
工種	A1
実施日	9月19日
実施場所	草ノ川
実施者	6月6日



## ササ刈

工事名	ササ刈
工種	B
実施日	完了
実施場所	11月22日

# 活動内容

散乱している枝をチップパーで処理



燃料用薪を作り活動資金とする





## 4. 過年度 関係人口創出の取組

標津町中学校と長野県生坂村中学校との交流事業

令和3年 長野県生坂村  
長野県生坂村中学校



令和4年 長野県生坂村中学校



# 過年度の関係人工との交流状況

平成28年 神奈川県相模女子大学、神奈川県立健康福祉大学 下枝払い体験



令和3年大阪 阪南大学



平成30年 地元小学校森林体験



# 過年度の関係人工との交流状況

## その他の交流状況



(上) 巣箱作り

(下) 薪切り体験



# 5. 令和5年度 関係人口との交流状況

長野県生坂村中学校 19名 標津町中

森林教育実施



大阪阪南大学森繁教授他9名



# 令和5年度 関係人口との交流状況

令和5年8月28日 15名  
相模女子大学 ポー川公園森林整備事業  
ミズナラ苗木採取



ミズナラ苗木植樹



森林学習



完了後参加者集合



# 関係人口創出・維持タイプ

## ① 関係人口創出の取組に至った経緯

・過年度より近隣住民、及び教育機関との協議により、近隣町の幼小中学校を対象に森林体験教育を実施していた。

## ② 関係人口創出の取組

### [概要・具体的取組]

・長野県生坂村中学校と標津町中学校の生徒を、多面的機能発揮対策事業の森林資源利用タイプ作業に参加し、体験教育を実施する。

### [効果、メリット]

・標津町は根室海峡の海に面した街で、酪農と鮭漁を中心とした地域であり、豊かな森を育てることができ、豊かな海を育てることにつながる等、体験教育により子供たちに伝えることができました。  
・今年度より、双方の中学校が、お互いに修学旅行の行き先とすることとなり、標津にとっても経済的な効果も発生する。

### [内燃以降の取り組み]

・現状では、今年度のような森林教育的な内容で、近隣の市町に働きかけ、一般の人も含めて、関係人口の拡大に努めたい。

## 8. 課題・問題点について

### [課題]

- ・会員の高齢化  
組織の発足当初は19名程の会員が活動していたが、現在は実稼働が出来る会員は12名ほどになってる、常に募集はしているが、新規会員の確保が大変。
- ・安全管理  
全体の安全教育の他に、作業前のKYKを行なっているが、枝や笹につまづく等、ヒューマンエラーによるヒヤリハットがある。

### [関係人口創出・維持タイプに関する問題点]

- ・令和4年度の関係人口創出・維持タイプの実施について  
採択申請時において、関係人口の参加者の氏名の提出が求められていたが、詳細不明のため申請を断念した、団体名のみでの申請でも良いのではないか。
- ・安全管理対応  
実際の林業体験を実施するには、保護帽の準備他の安全対策が必要となるので、森林教育程度の関わり方となる。
- ・経費の不足  
関係人口創出・維持タイプの交付金額が少ない、また関わる施設の整備等の助成額が1/3以内で、不足分については会の持ち出しとなる。

# ご清聴有難うございます

- 会員集合(現在16名が活動に参加している)



- 標津の森を守る会





